

※ 文字サイズは10pt以上とし、5ページ以内で作成すること。

(様式第2号)

協働事業企画書

1 募集区分	<input checked="" type="checkbox"/> 上限額20万円コース <input type="checkbox"/> 上限額50万円コース
2 提案団体名	NPO法人あさひかわ〇〇ネットワーク
3 事業の名称等	<p style="text-align: center;"><b>〇〇リーダー養成事業</b></p> <p style="text-align: center;">提案年度 ( <u>初年度</u> ・ 2年目 ・ 3年目 )</p>
4 事業の概要	<p>① 解決したい課題または把握している市民ニーズ (この事業が必要である社会背景、地域課題、市民ニーズなど)</p> <p>近年、〇〇の重要性が高まりつつあるが、旭川市内においては〇〇のような傾向にあり、〇〇がなかなか進んでいない状況にある。〇〇に関する調査結果を見ると、〇〇に対する認知度は〇〇.〇%を示しており、〇〇なまちづくりを進めるためには市民への理解浸透を図る必要がある。しかし、市民が〇〇について学びたいと思ってもその機会が少ない状況にあり、身近な場で〇〇について考えるきっかけづくりが必要である。</p>
	<p>② 事業の目的 (何のためにこの事業を行うか)</p> <p>各地域で〇〇について考える機会を提供することによって、市民一人一人の〇〇に対する意識を高めるとともに、参加者が〇〇リーダーとなって継続的に啓発活動を行うことにより、更に広く〇〇の輪を広げ、〇〇なまちづくりの実現を目指す。</p>
	<p>③ 実施する事業の内容 (誰を対象に、どこで、何を、どんな手法で実施するか 等)</p> <p>【実施内容】 「〇〇リーダー養成講座」の開催          【実施場所】 市内公民館、住民・地区センターのうち〇箇所          【対象者】 各地域に住む市民(講座1回当たり30~40人程度を想定)          【実施回数】 〇箇所 年3回ずつを予定          【実施方法】          基本的にワークショップ形式とする。          各回のテーマ(「△△」「□□」「◇◇」など)に沿いながら、それぞれの地域特性に合わせて住民同士で〇〇について考える場を設定する。          講座の中で〇〇に関連する支援制度についても紹介し、行政サービスへの理解や活用にもつなげていく。          実施時にはアンケートを採り、講座で話し合われた内容とアンケートでの市民の意見をハンドブックにしてまとめ、HP等で公開し、いつでも見られるようにすることで継続的に活用できるようにする。</p>

記 載 例

	<p>④ 事業の成果</p> <p>(事業実施によりどのような成果が得られるか, 具体的な成果指標 等)</p>																		
	<p>参加者が身近な地域での〇〇について考える機会を持つことによって, 適切な〇〇への理解が深まり, 〇〇な暮らしの実現につながる。また, 〇〇に関する支援制度の周知により行政サービスを活用したい人に広く情報が行き届き, サービスの有効性が高まる。</p> <p>具体的な成果指標としては, 講座実施回数, 参加者数, アンケートの結果等を想定している。</p>																		
	<p>⑤ 事業のスケジュール</p>																		
	<p>事業予定期間: 〇〇年〇月 ~ 〇〇年〇月</p>																		
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">R7</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">6月</td> <td>講座内容の検討・実施場所の確保 チラシの作成・印刷</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">7月</td> <td>チラシ配付・参加者募集取りまとめ 実施開始</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">7～9月</td> <td>1回目の実施 (× 〇箇所)</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">10～12月</td> <td>2回目の実施 (× 〇箇所)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R8</td> <td style="text-align: center;">1～2月</td> <td>3回目の実施 (× 〇箇所)</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">3月</td> <td>反省会・アンケート取りまとめ ハンドブックの作成・ホームページへの掲載</td> </tr> </table>	R7	6月	講座内容の検討・実施場所の確保 チラシの作成・印刷		7月	チラシ配付・参加者募集取りまとめ 実施開始		7～9月	1回目の実施 (× 〇箇所)		10～12月	2回目の実施 (× 〇箇所)	R8	1～2月	3回目の実施 (× 〇箇所)		3月	反省会・アンケート取りまとめ ハンドブックの作成・ホームページへの掲載
R7	6月	講座内容の検討・実施場所の確保 チラシの作成・印刷																	
	7月	チラシ配付・参加者募集取りまとめ 実施開始																	
	7～9月	1回目の実施 (× 〇箇所)																	
	10～12月	2回目の実施 (× 〇箇所)																	
R8	1～2月	3回目の実施 (× 〇箇所)																	
	3月	反省会・アンケート取りまとめ ハンドブックの作成・ホームページへの掲載																	
5 協働の必要性 及び役割分担等	<p>① 協働で取り組む必要性</p> <p>(団体単独でなく, 市と協働で取り組むことが必要な理由)</p>																		
	<p>市の持っている〇〇に関する情報(△△, □□支援制度 等)は大変有意義なものだが, 広く住民に行き届いているとは言えない状況と思われるため, そういった情報を各地域の講座の場で活用することで, 効果的に情報を発信することができる。またこれらの情報を講座内容に活用することで, 実施効果が高まるものとする。</p> <p>また, アンケートにより得られる住民の意見を〇〇の施策へと反映し, 〇〇の効果を高めていくことも可能となる。</p>																		
	<p>② 協働で取り組むことで得られる相乗効果・メリット</p> <p>(市と協働で実施することで, 市民・団体・市にどのようなメリットがあるか)</p>																		
	<p><b>【市民】</b></p> <p>様々な〇〇に関する情報を得られ, 〇〇な暮らしにつながる。</p>																		
	<p><b>【団体】</b></p> <p>市の持つ〇〇の情報を活用するとともに, 講座に対するアドバイスを受けることにより, 啓発活動の実施効果の向上につなげられる。</p>																		
	<p><b>【市】</b></p> <p>団体の持つ知識やノウハウを活用するとともに, 地域特性に合った講座の実施により, 質の高いサービスの提供につなげられる。</p>																		

	<p>③ 事業の役割分担の想定 (事業にかかわる各者の役割について具体的に記入)</p> <p>【団体の役割】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講座の企画, 実施</li> <li>・ 実施場所の確保</li> <li>・ チラシの作成, 配布</li> <li>・ アンケートの作成, とりまとめ (ハンドブック作成)</li> </ul> <p>【市に期待する役割】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ○○に関する情報や資料の提供</li> <li>・ 講座に対するアドバイス</li> <li>・ ハンドブックの校正, 市公式ホームページへの掲載</li> </ul> <p>【その他協力団体等の役割】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町内会や市民委員会に対し, チラシの配付協力の依頼を想定</li> <li>・ 講座テーマに沿ったネットワークの活用による周知 (各種学校, 地域子育てセンター, 民生児童委員, 地域包括支援センター等を想定)</li> </ul>
<p>6 事業終了後の 次年度以降の 取組予定・成果 の活用</p>	<p>(今年度の事業実施を経て次年度以降どのように取組を継続していくか, この事業により得られた成果をどのように活用していくか 等)</p> <p>【2年目(○○年度)の取組予定】</p> <p>初年度のアンケート結果, 作成したハンドブックを活用しながら講座の実施を継続。新たな開催地域を○箇所設け, 参加者数の拡大を図る。(年間総計○○○人程度の参加を目指す。) また, 事業自立化に向けて協賛企業を増やす。</p> <p>【3年目(○○年度)の取組予定】</p> <p>初年度・2年目に未実施である地域を対象とし, 3年間で市内全域の概ねを回るような形で進める。各地域での取組や実態をハンドブックに加えていき, 実例集として改訂する。出前講座形式についてアンケートを通じて希望調査を行い, 試行的に○件程度実施し, ニーズや効果を検証する。経費は, 参加者負担・協賛・団体会費・寄附等で○割を賄えるよう, 事業内容を整理していく。</p> <p>【協働事業終了後(○○年度以降)の取組予定】</p> <p>各地域の希望に応じて実施する出前講座形式(年間○件程度)での継続を考えていく。○○年後には○○に対する認知度が○○%を超えるよう, SNS や関係機関との協力を得ながら周知啓発を続けていく。</p>
<p>7 その他</p>	<p>(提案における創意工夫, アピールポイント, 継続提案の場合の過去実績 等)</p> <p>○○についての周知啓発については, ○○による手法がよく採られているが, 旭川市では○○という傾向があることから, ○○による実施がより効果が高まるものとして今回採り入れることとした。</p> <p>当団体は, ファシリテーションスキルやワークショップ開催の実績を多く有しており, ○○の活用や○○による手法を活かしながら, 住民が話し合いやすい環境づくりを目指し取り組んでいきたい。</p>